

貸借対照表

令和 5 年 5 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 266,482,861】	【流動負債】	【 157,757,317】
現金及び預金	137,659,113	買掛金	153,034,151
受取手形	4,686,055	未払金	2,550,883
売掛金	73,589,526	未払費用	2,441,407
商品	49,280,253	預り金	520,176
貯蔵品	664,192	未払法人税等	△819,300
前払費用	137,498	返品調整引当金	30,000
仮払金	19,078	【固定負債】	【 4,846,283】
未収入金	566,046	長期借入金	4,791,160
未収消費税	661,100	繰延税金負債	55,123
貸倒引当金	△780,000		
【固定資産】	【 78,719,120】		
(有形固定資産)	(55,245,879)	負債の部合計	162,603,600
建物	44,051,770	純資産の部	
建物附属設備	21,921,739	【株主資本】	【 182,598,381】
構築物	1,782,820	(資本金)	(22,500,000)
工具器具備品	13,084,698	資本金	22,500,000
土地	40,920,000	(利益剰余金)	(160,098,381)
減価償却累計額	△66,515,148	利益準備金	5,625,000
(無形固定資産)	(232,884)	別途積立金	100,000,000
電話加入権	232,884	繰越利益剰余金	54,473,381
(投資その他の資産)	(23,240,357)		
出資金	643,000	純資産の部合計	182,598,381
投資有価証券	800,000		
保証金	60,000	負債及び純資産の部合計	345,201,981
保険積立金	21,368,611		
繰延税金資産	368,746		
資産の部合計	345,201,981		

個 別 注 記 表

自 令和 4 年 6 月 1 日
至 令和 5 年 5 月 31 日

- I. この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。
- II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
1. 資産の評価基準及び評価方法
 - 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法によっています。
 2. 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産 法人税法の規定による定率法、ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（建物付属設備は除く。）平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備、構築物については定額法
 - 無形固定資産 法人税法の規定による定額法
 3. 引当金の計上基準
 - 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。
 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
 - ① リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
 - ② 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。
- III. 貸借対照表に関する注記
- | | |
|----------------|-------------|
| 有形固定資産の減価償却累計額 | 67,208,067円 |
|----------------|-------------|
- IV. 株主資本等変動計算書に関する注記
- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数 | 45,000株 |
| 2. 当該事業年度の末日における自己株式の数 | 0株 |
- V. 一株当たり情報に関する注記
- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 純資産額 | 4,057円74銭 |
| 2. 当期純利益額 | 444円71銭 |